

## 家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法 幅 900 x 奥行 295 x 高さ 1,412 mm

表面材 プリント紙化粧板

表面加工 \_\_\_\_\_

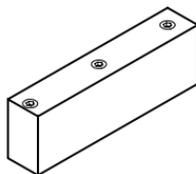
- 取扱上の注意
- イ. 据え付けに際しては、湿気の多い所を避け、水平を保つために必要な措置を講じて下さい。
  - ロ. 直射日光又は熱を避けて下さい。
  - ハ. 著しい汚れを劣る場合は、薄めた中性洗剤を使用して下さい。

製造元: 小島工芸 株式会社

03-3674-2251

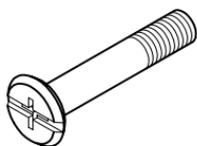
棚板大 :2枚  
棚板小 :2枚  
金ダボ :22個  
(棚板用:16個 ボックス用:6個)  
保護用フェルト :6枚  
補助天板 :1枚

スペーサー:1枚



背板固定用  
ボルト:3個

穴ふさぎキャップ:11個



穴ふさぎキャップのご使用にあたって

連結穴をご使用にならない場合に穴をふさぐためのキャップを付属しております。

穴ふさぎキャップは、空いている連結穴の数を付属しております。

ご使用にならない連結穴につきましては、棚板は上から、羽目は外もしくは内側の片側から付属の穴ふさぎキャップを差し込んでご使用ください。

(穴ふさぎは片側からのみにてお願いを致します。)

棚板上・下及び羽目の内・外両側から穴ふさぎを行うとキャップが取れなくなる恐れがありますので、絶対におやめください。

## 製品取扱説明書



この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。

取扱説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

本製品はお客様のお好みでレイアウトが出来る様、保護用のフェルトを付属しております。

保護用のフェルトは標準取付用として3枚、調整及び予備として3枚を付属しております。

シェルフ固定棚の高さは保護用のフェルトを貼り付けた状態で、デスク脚の高さと同じになる様に製造しております。

保護用のフェルトについては本紙をご確認頂き、必ず取付例に従って貼り付けてください。

木質ボードの特性上お使いになる状況や調整で取付けられたフェルトの枚数によりデスクの高さと異なる事がございますが、クレームの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

ご使用前には、必ずこの「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。



### 注意

誤った取扱いをした時に、障害または家屋・家財の障害に結びつくもの。

フェルトの貼付は付属の棚板・ボックス及びデスクジョイントセット(補助天板・スペーサー)を取り除いた状態で作業してください。

棚板・ボックス及びデスクジョイントセットの一部が落下してケガをしたり、床や壁、製品を傷つけたり破損したりする恐れがあります。

フェルトの貼付は毛布等のあて物を敷いた上に、シェルフを寝かせた状態で行ってください。

寝かせる際には、必ず大人2人以上で作業を行ってください。

### ご使用頂く前に

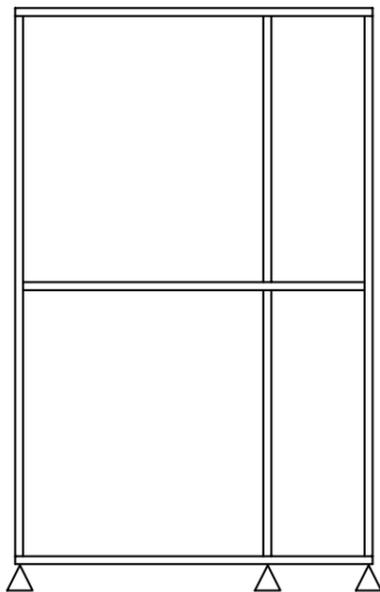
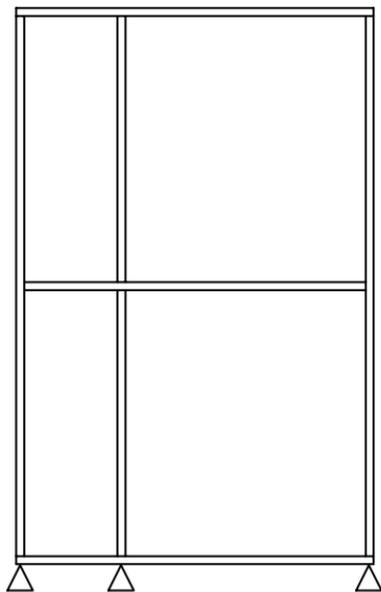
シェルフをご使用になる際には、必ず付属の保護フェルトを床との設置面に貼り付けてください。

貼り付け位置については、「取付例」をご参照ください。

調整フェルト在中

## 「取付例」

フェルトは必ず左・中・右各1枚ずつを下図 印の位置に貼り付けてください。  
お客様のご使用にあわせてフェルトを貼る面を決めてください。



右側を広く使用される場合

フェルト



左側を広く使用される場合

## ボックスの使用方法

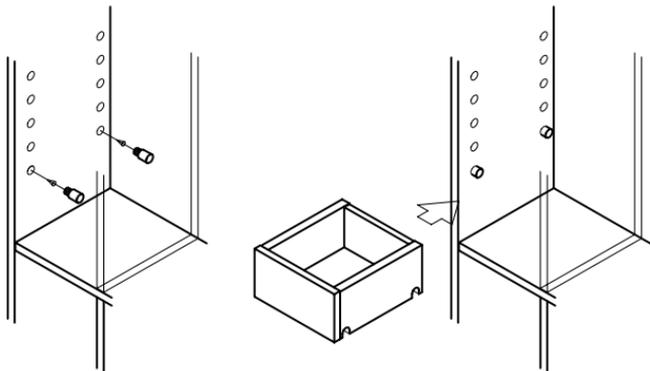
シェルフに付属しております「ボックス」は地板や固定棚、デスクの上に置いてご使用できるだけでなく、間口の狭い側の自在棚と同様に金ダボを利用してボックスを固定する事もできます。

ボックスを落下させてケガをしたり、床や壁、製品に傷をつけない様、慎重に行ってください。

使用部品: 金ダボ 6ヶ(受用: 4ヶ 押え用: 2ヶ)

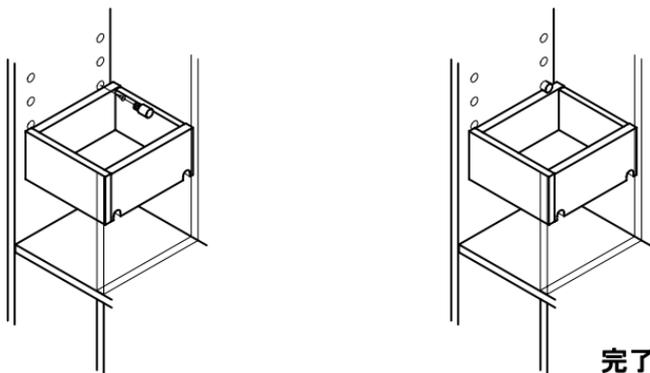
ボックスを設置する所の両側に金ダボをセットします。(左右各2ヶずつ)

金ダボをセットした位置にボックスを設置します。



ボックスを設置し、ガタツキが無い事を確認してください。

ガタツキが無い事を確認したら、押え用の金ダボを左右1ヶずつセットすれば完了です。



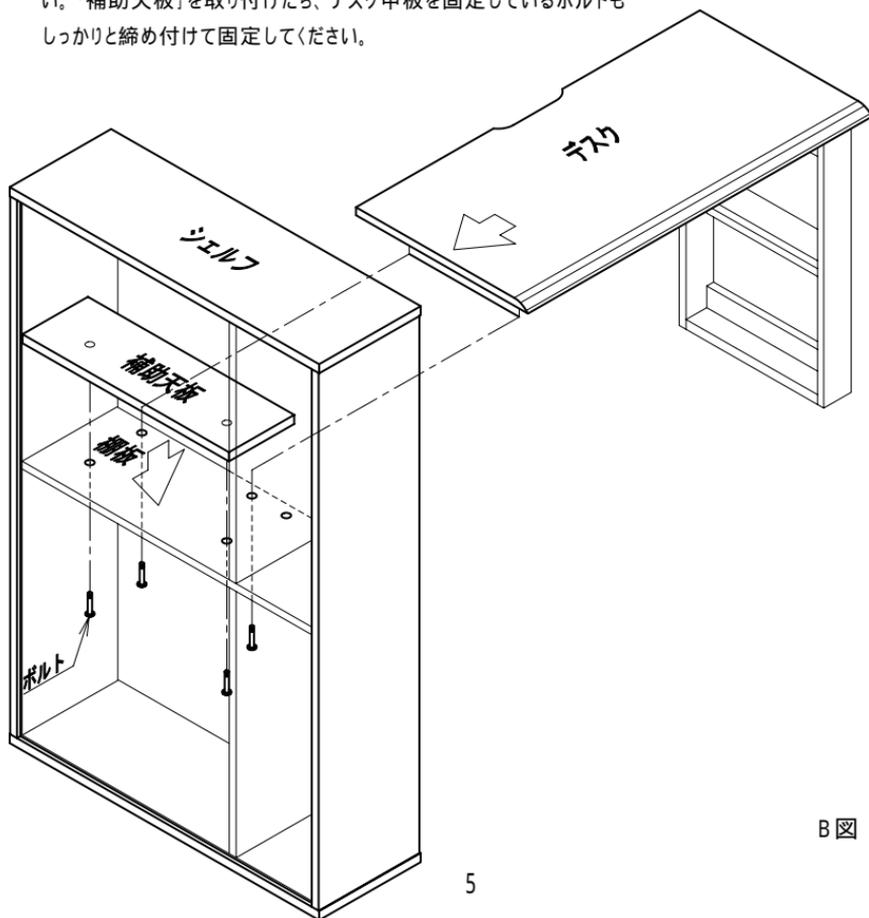
B 図

大人2人以上でデスクを移動して、脚部材を外した側のデスク甲板をシェルフの棚板に乗せてください。この時、デスクをシェルフにぶつけて転倒させたり、床や壁・製品を傷つけない様、慎重に行ってください。

シェルフの棚板に空いている「デスク甲板固定用穴」2ヶ所をデスク甲板の脚部材を固定していた埋め込ナットに合わせ、脚部材を固定していたボルトを使用して仮止めしてください。

シェルフ棚板とデスク甲板に段差が生じる為、「補助天板」を取り付けます。しっかりと締め付けてしまうと「補助天板」が入らなくなる為、おやめください。

シェルフ棚板とデスク甲板の段差に「補助天板」を乗せて、棚板に空いている「補助天板固定用穴」と「補助天板」裏側の埋め込ナットを合わせ、脚部材を固定していたボルトを使用して固定してください。「補助天板」を取り付けたら、デスク甲板を固定しているボルトもしっかりと締め付けて固定してください。



B 図

## デスクとの接続方法

JDシリーズのデスク各種は、シェルフを脚部材の代わりとして組み合わせることでL型にレイアウトする事が可能です。

組み合わせる際は**必ず大人2人以上**で行ってください。

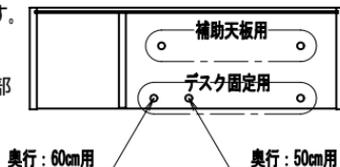
組み合わせる際のシェルフの向きを間違えないでください。(デスク背板側が、シェルフの羽目に連結用の穴が空いている側となります。)

デスクの奥行きによって、甲板を固定する穴が異なります。

ご注意ください。(右図参照)

作業中取り外しを行うボルト・ナットは固定する際に一部を除き、再度使用いたします。

紛失しない様、十分に注意をしてください。



### A 図

デスク背板左右にある連結用ボルト・ナットを緩めて、背板を外してください。

(取り外しについては、デスク取扱説明書をご参照ください。)

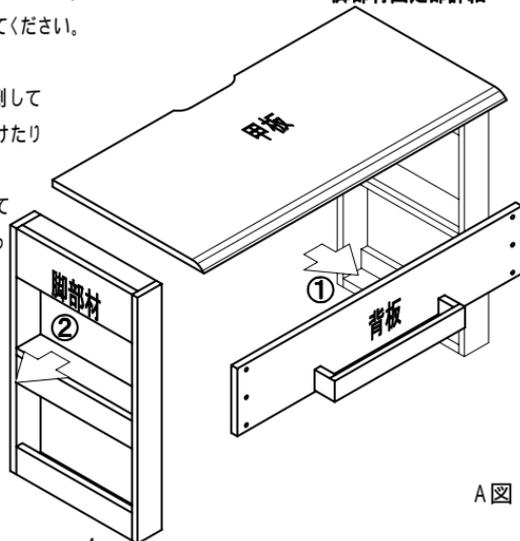
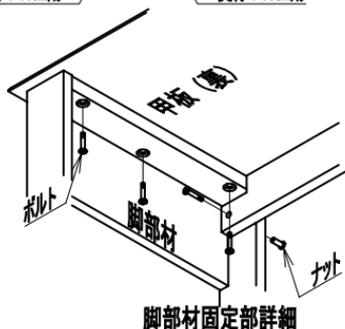
この時、デスク本体に背板をぶつけて落下させて床や製品を傷つけない様、慎重におこなってください。

デスク脚部材とデスク甲板を接続しているボルト・ナット計: 4ヶ所(ボルト3ヶ所・ボルト・ナット1ヶ所)を緩めて、脚部材をデスク外側方向に外してください。

(右図参照)

甲板を支える物がなくなる為、転倒してケガをしたり、床や壁・製品を傷つけたりする恐れがあります。

甲板は**必ず大人1人以上**で支えて他の方が脚部材を外す作業を行ってください。



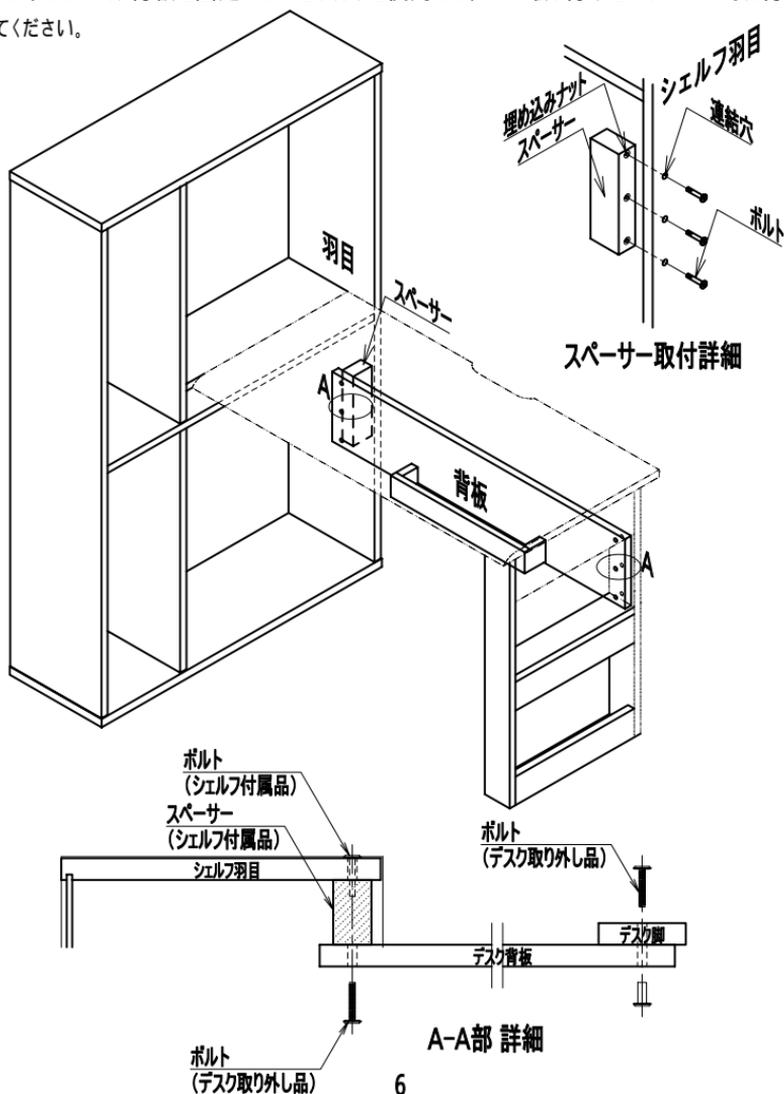
### A 図

C 図

シェルフ付属の「スペーサー」をシェルフ羽目の内側にシェルフ付属の連結用ボルトで固定してください。  
 (「スペーサー」にはナットが埋め込まれています。シェルフ羽目の連結用穴に合せて固定してください。)

で外したデスク背板をデスク脚部材の**内側から**連結用のボルト・ナットで仮止めしてください。  
 この時、**シェルフ羽目の内側に**背板が来るように仮止めしてください。

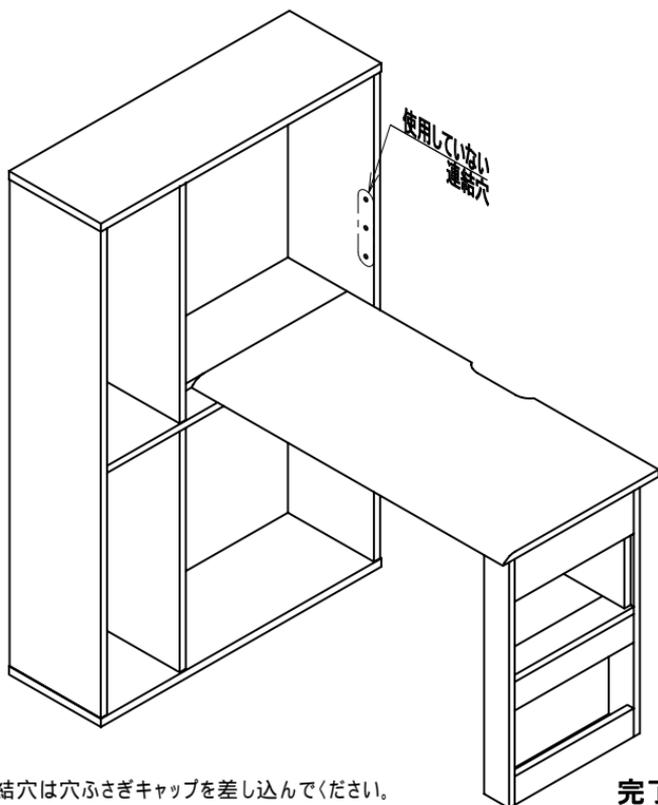
で外したデスク背板を固定していたボルトを使用して、 で取り付けした「スペーサー」に背板を固定してください。



C 図

デスク付属品の「キャップ」をボルト・ナットの頭に取り付けてください。

キャップが取り付けにくい時は、ボルト(ナット)の頭に円を描くように取り付けるとしっかりとハマります。



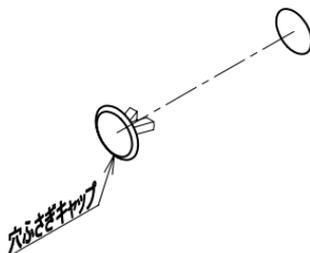
使用していない連結穴は穴ふさぎキャップを差し込んでください。

シェルフ本体には羽目に6ヶ所、棚板に5ヶ所、合計11ヶ所の連結穴が開いています。

デスクと接続せず連結穴をご使用にならない場合は、棚板は上から、羽目は外もしくは内側の片側から付属の穴ふさぎキャップを差し込んでご使用ください。

穴ふさぎは片側からのみでお願い致します。

棚板上・下及び羽目の内・外両側から穴ふさぎを行うとキャップが取れなくなる恐れがありますので、絶対におやめください。



## 安全上のご注意(必ずお守りください。)

表示内容を無視して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

背板の付け替え及びコードだまりの付け替え、オプション引出の取り付けを行う際には、必ず大人2人以上で行って下さい。

背板の付け替え及びコードだまりの付け替え、オプション引出の取り付け、取り外しの際は、落下させて床をキズつけないように必ず毛布などの敷物をして床材の保護をするようにしてください。

説明書に従いボルトの締め付けはしっかり行ってください。ボルトの締め付けがゆるみ転倒、落下をするとケガをしたり、床や壁、製品をキズつける原因になり大変危険です。

天板や背板、コードだまり、オプション引出を固定しているボルトがゆるんで落下すると、ケガをしたり床をキズつける原因になり大変危険です。しっかり固定してください。

日頃時々点検してデスクがぐらついたり、ボルト等がゆるみはじめたらしっかり締めなおしてください。

オプション引出の取り付けを行う際には、必ず引出枠から引出しを取り外してから行ってください。

オプション引出の取り外しを行う際には、必ず引出しに収納されているものは全て取り除き、引出をセットしたまま作業を行ってください。(無理に引き抜くと破損する事があります。)

ワゴン各種、サイドデスクの引出を引き出したまま、引出に手をかけないでください。転倒する恐れがあります。

## 取扱い上のご注意

**警告** 火災などによる人身事故にご注意ください。

暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。

お客様自身で修理・改造はしないでください。

机やワゴン、サイドデスクの上に乗らないでください。(転倒してケガの原因)

ワゴン、サイドデスクの引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。

(転倒してケガの原因)

**注意** 安全と製品保護のため正しくお取扱いください。

使用中にボルトにゆるみが生じた場合、早めにドライバー等でしっかり締めなおしてください。

(デスクのぐらつき、天板・背板・コードだまりの落下の原因)

デスクの据え付け及び移動をするときは、床を引きずらないで必ずお二人で持ち上げて行ってください。

(床をキズつける原因)

ワゴンの前輪キャスターにはストッパー機能がついています。

ワゴンの移動をやめたいときはストッパーボタンを下げてください。

**お願い** 製品を末永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。

机の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)

直射日光のあたるところ、温度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。

(反り・割れ・変色・カビの原因)

製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けしないでください。(表面材がはがれる原因)

シンナー・ベンジン等を吹き付けしないでください。

お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤をうすめた液か石けん水に布を浸し、よく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

～ ご注意 ～

連結ボルトやナットが製品本体  
にくい込んでしまうと、付属のボルト  
キャップがうまくはまらなくなる事  
があります。

ご注意ください。